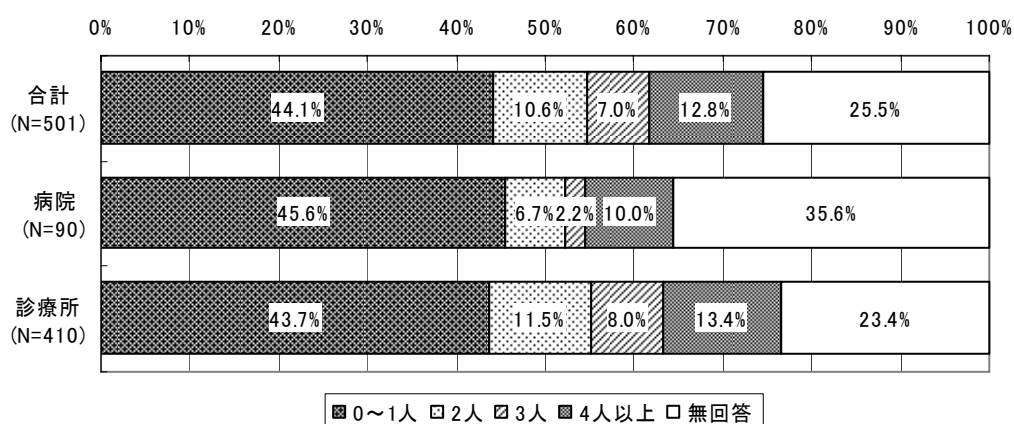


禁煙治療に携わる職員数（その他の職員数）についてみると、全体では「0～1人」（44.1%）が最も多く、次いで「4人以上」（12.8%）となっていた。平均は2.37人（標準偏差7.27、中央値1.00）であった。

この傾向は医療機関種別でも同様で、病院においては、それぞれ45.6%、10.0%となっており、平均は3.24人（標準偏差15.08、中央値0.00）であった。診療所においてはそれぞれ43.7%、13.4%となっており、平均は2.21人（標準偏差4.54、中央値1.00）であった。

図表 14 禁煙治療に携わる職員数（その他の職員）



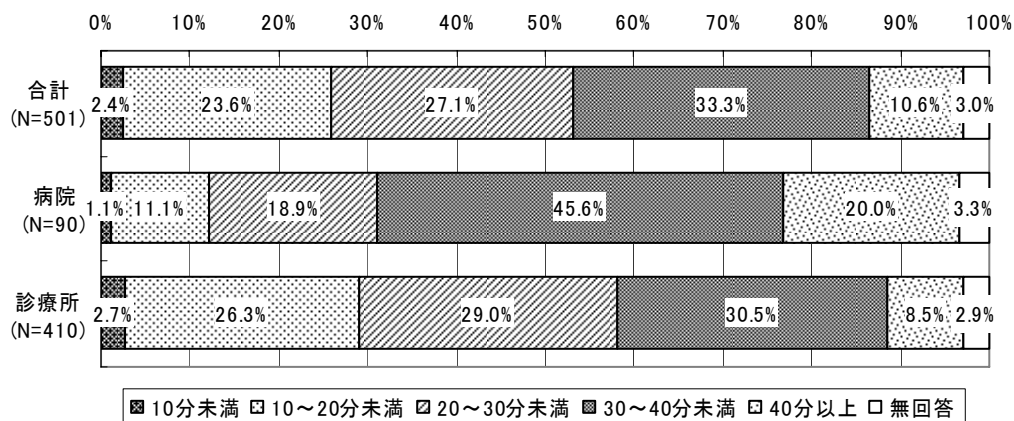
\* 合計（N=501）には、施設区分不明（N=1）を含む。

## 8) 患者に対する1回あたりの平均指導時間

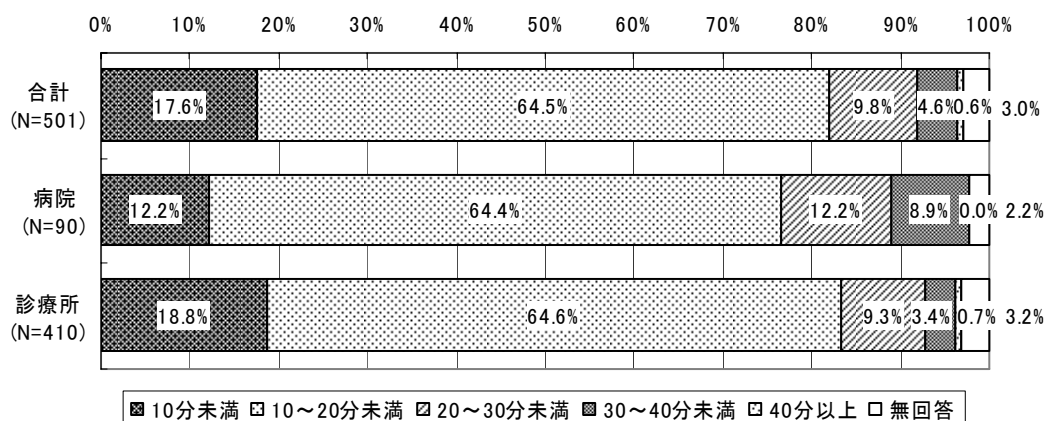
患者に対する1回あたりの平均指導時間についてみると、初回の指導では、「30～40分未満」(33.3%)が最も多く、平均24.86分(標準偏差12.33、中央値20.00)であった。医療機関別に見ると、病院の方が初回の治療に時間をかけている傾向がみられた。病院では平均29.40分(標準偏差11.33、中央値30.00)、診療所では平均23.85分(標準偏差12.32、中央値20.00)であった。

2回目以降の指導の平均指導時間についてみると、全体では「10～20分未満」(64.5%)が最も多く、平均は12.59分(標準偏差6.50、中央値10.00)であった。病院、診療所ともに同様の傾向であり、平均時間はそれぞれ14.43分(標準偏差6.78、中央値15.00)、12.14分(標準偏差6.31、中央値10.00)であった。

図表 15 患者に対する1回あたりの平均指導時間(初回の指導)



図表 16 患者に対する1回あたりの平均指導時間(2回目以降の指導)



\* 合計 (N=501) には、施設区分不明 (N=1) を含む。